

2026年度事業計画

2025年度の日本経済は、設備投資を中心に内需が底堅く推移し、インフレが続くものの、賃金改善や政府による家計負担軽減策の効果により、個人消費が緩やかに回復する一方、外部環境(特に米国関税)の不確実性に直面してきました。

2026年度は為替の不透明感、物価や人件費など様々な価格上昇に伴う経営への影響など喫緊の課題に対処していくとともに、将来を見据えた CAS/RMP 基盤普及への貢献を行い、引き続き「放送を支えるインフラ企業としての当社の使命と責任」を着実に果たすことに最大限注力してまいります。

【経営方針】

1. B-CASカードの提供全般に関わる事業変化やリスクへの対応

- 受信機メーカーの変化に起因する事業リスクの早期把握と対応
- カードの製造・流通に関わるコスト軽減(工程や種類の見直し等)
- 利用者サービスの向上(ホームページの見直し、再発行手続きの簡素化等)

2. B-CAS方式の信頼性維持とセキュリティ対策の推進

- カード脆弱性やセキュリティリスクに対する第三者評価の継続
- 改ざんカード撲滅に向けた捜査協力とサイバーパトロールの継続
- 中古カード販売等への対応(Web サイトの監視や削除要請等)

3. 安定したサービスを持続的に提供する基盤の整備

- 将来を見据えた CAS/RMP 基盤普及への貢献
- 社内 DX 化の推進
- 確実な人財確保と業務の継承

【収支計画】

(単位：百万円 単位未満切捨)

	2026年度計画 (A)	2025年度実績 (B)	増減額(A)-(B)
売上高	2,148	2,195	▲ 47
営業利益	98	176	▲ 78
当期純利益	67	124	▲ 57